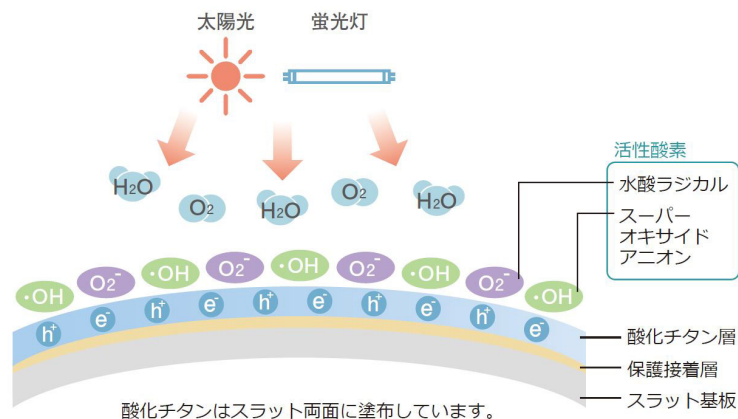


◇光触媒作用のメカニズム

酸化チタン (TiO₂) に光があたると、酸化チタンの表面に生じた e⁻ (電子) と h⁺ (正孔) に空気中の酸素 (O₂) や水 (H₂O) がそれぞれ反応し、・OH (水酸ラジカル)、O₂⁻ (スーパーオキシドアニオン) という2種の活性酸素を生成します。

※酸化チタン (光触媒) …光エネルギーを利用して、他の物質に化学反応を引き起こす働きをもつ。



◇抗ウイルス性能

※新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) による試験は行っておりません。

- 試験品名：酸化チタンコート遮熱スラット (V1401)
- 試験方法：ISO 21702 並びに JIS R 1706 を参考
- 試験ウイルス：A 型インフルエンザウイルス、ATCC VR-1679
宿主細胞：MDCK 細胞 (ATCC CCL-34)
- 照射条件：暗所ならびに紫外光 0.1mW/ cm² 照射時間：0 時間、4 時間

■照度と照射時間について

紫外光照射	代表的な場所
0.1mW/ cm ²	昼間の室内 (太陽光が入る窓から 1.5m 程度内側まで)、朝または夕方の窓際

○試験結果

抗ウイルス試験 (インフルエンザウイルス)		ウイルス感染価 (pfu/sample)	
スラット種類	スラットカラー	0 時間	4 時間 紫外光 (0.1mW/ cm ²)
遮熱ベーシック	V1209 (スターホワイト)	600,000	500,000
酸化チタンコート遮熱	V1401 (スターホワイト)	600,000	100 未満 ※検出限界値以下

ウイルス感染価 (pfu/sample)：単位体積あたりの感染性あるウイルス数



※測定データは外部試験機関による試験結果を二重チェックにてグラフ化したものです。

※酸化チタンは光を利用して酸化分解作用を引き起こすため、光が届かない場所では抗ウイルス性が発揮されません。

※抗ウイルス性はスラット表面に付着したウイルスを不活性化するものです。空気中に浮遊しているウイルスの働きを抑制する効果はありません。

※本製品は医療や病気の予防等を目的とするものではなく、全てのウイルス・菌・臭いに対し効果を保証するものではありません。

※操作コードやグリップは抗菌仕様ですが、抗ウイルス性はありません。

◇カラーラインアップ (15 色)



※酸化チタンコート遮熱スラットは、表面に酸化チタン特有の干渉縞 (虹色) が見られます。